

平成27年4月30日(木)

国土交通省 関東地方整備局

記者発表資料



高崎河川国道事務所

「道路をより管理しやすくする取組み」第3弾 ～行政相談が多く、手間がかかる「雑草対策」を進めます～

高崎河川国道事務所では、管理する国道（17号、18号、50号：全長約210km）において、これまでの道路の維持管理で蓄積された知見や新技術を総動員して「道路をより管理しやすくする取組み」を推進することにより、道路管理上の課題解決に努め、道路利用者に対する一層のサービス向上を目指しています。

「雑草」は行政相談が多いものの、路肩や中央分離帯など作業スペースが手狭な箇所が多く、通行規制を伴い、多くの人手が必要な手間がかかる作業です。

これらの課題を解決するため、新技術を活用した中央分離帯等の「雑草対策」を進めます。

「道路をより管理しやすくする取組み」 第3弾

○新技術活用した中央分離帯等の雑草対策の取組み

(別紙参照)

※ 順次このような取組みを拡大していきます。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会
刀水クラブ テレビ記者会 高崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 高崎河川国道事務所

住所：群馬県高崎市栄町6-41 電話：027-345-6000（代） FAX：027-345-6085

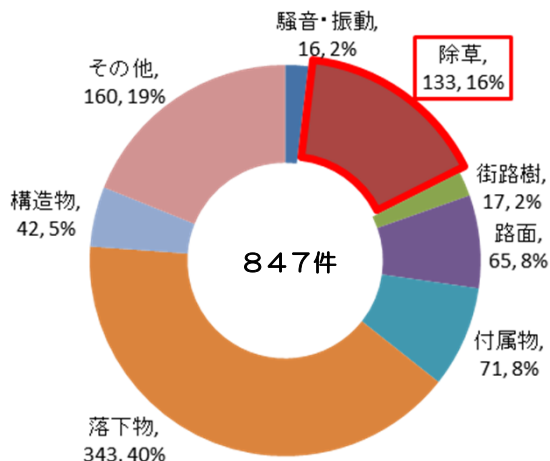
副 所 長 伏見 利行（ふしみ としゆき） 内線：204

計 画 課 長 関根 孝之（せきね たかゆき） 内線：261

高崎河川国道事務所ホームページ

新技術を活用した中央分離帯等の雑草対策の取り組み

- 高崎河川国道事務所に寄せられる管内の行政相談（H26：全847件）のうち、**約2割（133件）が雑草対策の要望**です。
- これまでも、官民境界への防草コンクリートの設置等を順次進めていますが、路肩や中央分離帯等、作業に手間や多額の費用がかかる箇所も多く抜本的な解決には至っていません。
- このため高崎河川国道事務所では、**作業性の悪い箇所について新技術を活用した「雑草対策」を推進**するなど、管内全体が適切な道路環境となるよう、**雑草対策を強化**します。



H26年度行政相談の状況

○今後の取り組み

- 作業性の悪い箇所については、道路の改良や補修時にあわせて、原則同等以上の防草機能を確保した材料・工法を使用します。
- 作業性の良い箇所については、除草回数の最適化に努めます。

<これまで>

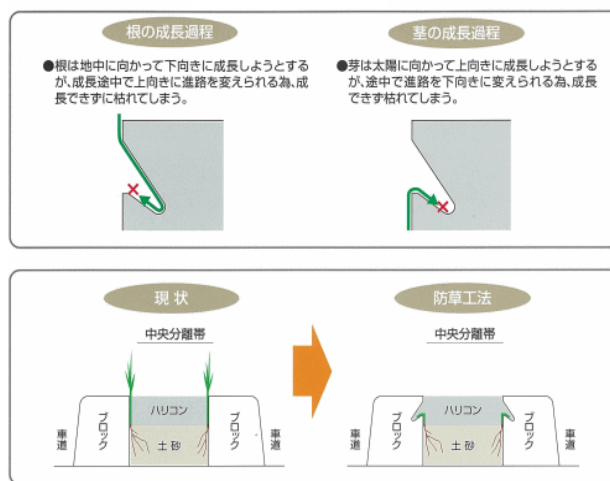


中央分離帯の雑草の状況



毎年、雑草対策に多くの手間と時間が必要
 (78,500円/km、4時間/km)
 (4人で作業)

<今後>



出典：NETIS(新技術情報提供システム)

防草ブロックの概念図



除草作業の必要なし